

海外安全対策情報（平成30年10～12月期）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) NSW州

治安情勢は安定し、NSW州全体の犯罪発生率は昨年と比べると全ての罪種において同等又は減少している。しかし、薬物犯罪の検挙者については、コカインの所持・使用+23.1%、覚せい剤の所持・使用+9.7%等、全体的に増加傾向である。

なお、顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

○シドニー地域

Baulkham Hills and Hawkesbury：強制わいせつ (+59.5%)

Blacktown：建造物侵入 (+39.9%)

○ Coffs Harbour - Grafton：窃盗（自動車盗）(+23.2%)、
窃盗（車上ねらい）(+37.8%)、窃盗（店舗対象）(+40.0%)、詐欺 (+32.1%)

○ Far West and Orana：暴行・傷害（DV関連）(+28.9%)

○ Hunter Valley excluding Newcastle：窃盗（店舗対象）(27.3%)

○ Illawarra：詐欺 (+23.9%)

○ Mid North Coast：住居侵入 (+28.3%)、窃盗（車上ねらい）(+24.2%)、
詐欺 (+49.9%)

○ Murray：窃盗（店舗対象）(+48.3%)

○ Riverina：強制わいせつ (+54.1%)、詐欺 (+20.9%)

(2) 北部準州

治安情勢は総じて安定している。暴行・脅迫、性犯罪等人に対する犯罪は前年比-4.7%、窃盗、住居侵入等の所有権を侵害する犯罪は+3.9%となっている。

特に店舗に対する侵入・窃盗事案が増加している。

2 邦人被害

警察や国税庁、総領事館の職員等を装ったメールや電話による振り込め詐欺が多発している。犯人は、「振込が確認できない場合は、即座に逮捕状を執行する」等と被害者に申し向け、考える隙をを与えずに多額の現金を振り込ませようとする。このような振込の指示が有った場合、一旦電話を切り、関係機関や関係者に確認したり、ご家族や警察に相談する等の措置をとる必要がある。

3 テロ・爆弾事件発生状況

現在のところシドニーにおいて大規模なテロの発生はないが、オーストラリア国内におけるテロの脅威度は依然5段階中上から3番目の「Probable」であり、特に人の集まる場所におけるテロの可能性について警戒を要する。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

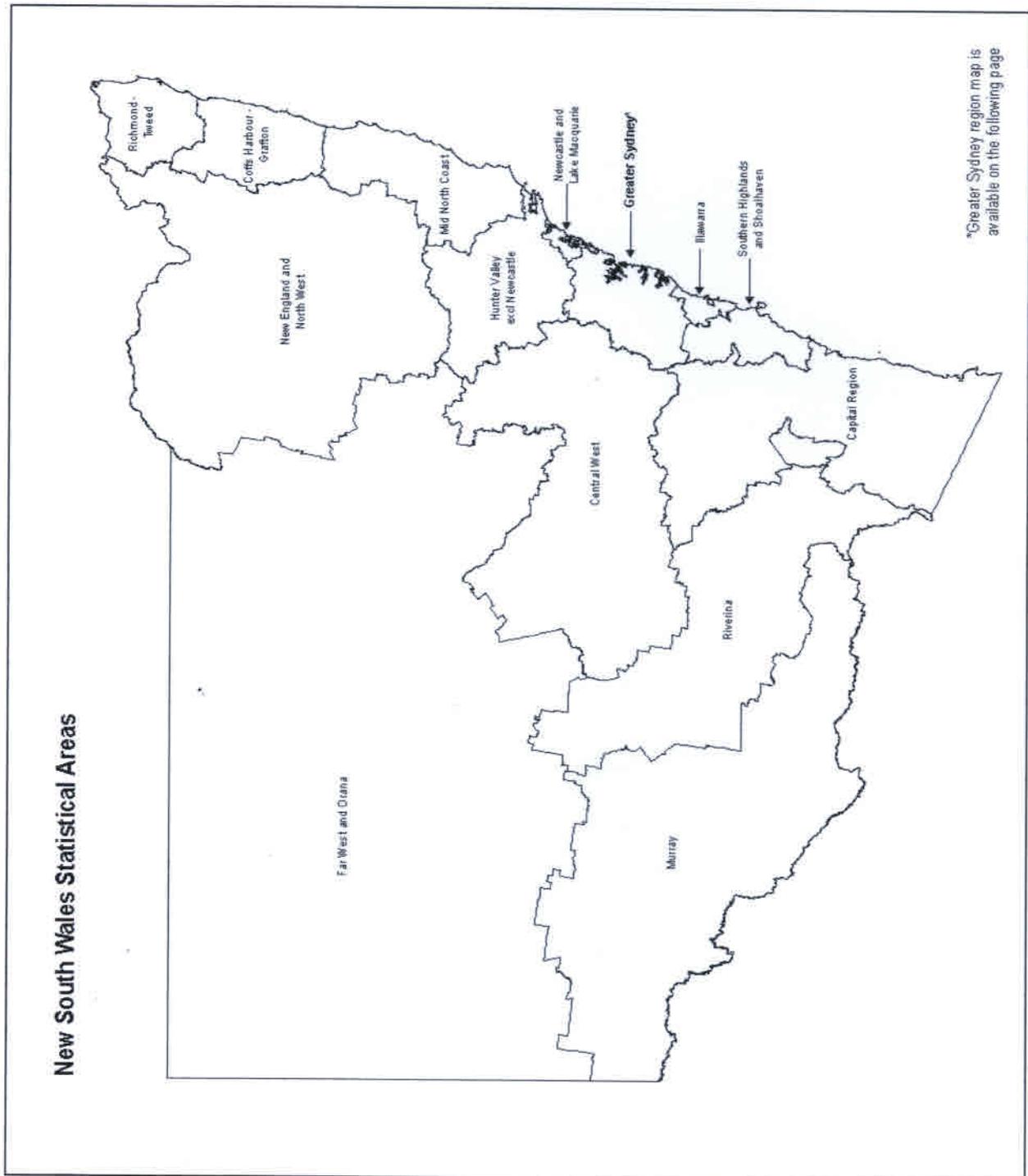
特段注意を要する事件・情報は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

捕鯨・イルカ漁反対団体の動向等について引き続き注意を要する。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2018年1月から2018年12月までの1年間と前年同期との増減率）。

APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS



APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS

